

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)10月29日
所 属 名:湖東農産普及課
番 号:F25013
発 信 者 名:川村 智、緒方、堤

「とよ坊かぼちゃん」の第3回産地ビジョン策定に向けた話し合いを開催

10月17日、「とよ坊かぼちゃん」の第3回産地ビジョン策定に向けた話し合いを開催し、とよ坊かぼちゃん生産部会員・かぼちゃ加工品を製造する特産部会員 8 名、豊郷町やJA東びわこなど関係機関合わせて 15 名が参加しました。

第2回までの話し合いでは、生産部会で産地の現状を共有するとともに、産地の維持・活性化に向けて意見を出し合い、その後、「生産面と流通面からカボチャの産地を維持するためには何ができるか？」をテーマに、課題の整理と取組について意見交換を行いました(普及現地情報 F25003 および F25009)。

第3回の話し合いでは、前回に引き続き、話し合いのコーディネーターとして(株)フランの竹川プランナーを招き、普及指導員がファシリテーターとなり、2グループに分かれて話し合いを進めました。これまでの話し合いで整理した課題と取組に対して短期と中・長期に区分し、具体的な取組および取組を担当する者について意見交換を行いました。参加者からは、「夏季の作業は重労働であるため、加工用秋どり栽培や早期収穫栽培を早くから取り組むべき」や「集落営農法人への栽培推進のため、経営試算表を用いた説明が必要」など前向きな意見がありました。話し合いの結果、令和8年から加工用秋どり栽培の実証栽培や人材確保に向けた取組を開始することが決まりました。

今後は、第4回の話し合いを1月に開催し、3年後のあるべき姿と目標を設定するとともに、令和8年度の実証栽培の具体的な内容を定める予定です。今後も関係機関と連携し、「とよ坊かぼちゃん」の産地ビジョン策定を通じ、部会が発展するよう支援します。



グループワーク(KJ法)で意見を出し合う参加者